

# Campus Climate Challenge 実行委員会 2009 年度事業計画書

## 「世界を変えたい」- 学校から始める私たちの挑戦

2009 年 4 月  
全国青年環境連盟（エコ・リーグ）  
Campus Climate Challenge 実行委員会

### 企画背景

近年、温暖化問題の深刻さが認識され、関心が非常に高まっている。日本では、1990 年代から学生による環境活動が活発となり、現在 300 団体を数えるまでになった。これら活動はごみの削減や環境教育などを通じて温暖化問題防止に役立ってきたが、学生は 4 年前後で卒業してしまうため、成功事例、失敗事例などのノウハウが蓄積されにくい。しかし現在約 750 ある大学・専門学校から温暖化問題に取り組むことができれば排出削減効果は大きく、学生に対する教育効果も高い。問題に直接的に取り組む手段を学生と共に開発し、それを普及させることにより温暖化を防止すべきと考えた。

### 事業目標

大学を大きな実験室と捉え、社会に率先して新技術・新システムによる温暖化防止を促進する。そのために、学生による大学の温室効果ガスの削減と持続可能なキャンパス作りを行い、その成果を広く社会へ発信する。各大学の環境サークルや環境問題を扱うゼミが、大学に再生可能エネルギーの使用や省エネルギー対策の導入を促すために、その阻害要因の分析、解決策の検討を実施し、一般学生への環境教育・啓発活動を効果的に行うことができるよう支援する。

そのために、以下のことを行う

- 1) 温暖化問題の啓発、サークルの能力向上
- 2) 大学の調査・先進事例の収集
- 3) 温暖化防止に取り組む環境サークルの連携

### 企画の特徴

**高いニーズ** エコ・リーグでは、Campus Climate Challenge（以下、CCC）に関心の高い学生への情報提供や、意見交換会をこれまでに数回開催してきた。その結果、この問題に関心が高い学生が多くいることが判った。既に独自で事業を試みる環境サークルも現れている。本事業の準備メンバーリングリストには既に約 26 大学から、61 名の参加者がいる（2009 年 4 月現在）。

**学生と多様な主体との協働** 学生による既存の環境活動は、環境サークル単独で行うことも多く地域社会や大学と協同行う事業が少なかった。本事業は大学・企業・メディア等を最大限巻き込むことにより、成功の可能性が高まる。既存の活動は啓発のみにとどまることが多いのに対し、本事業はさらに、大学の管理・経営層にも直接働きかけ、トップダウンからのアプローチも行う。学生の環境活動が、様々な主体との協働で社会を変える、新たなステージに移行するきっかけを作る事業でもある。

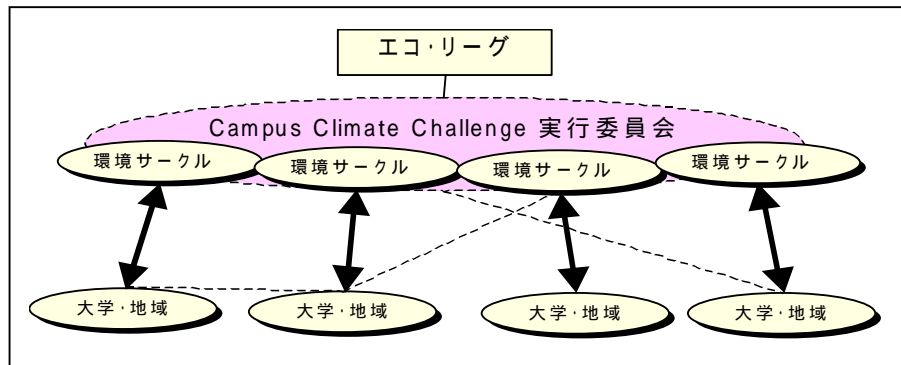
**海外先進事例との連携** CCC は、1990 年代に北米の大学で始まった。自然エネルギーの導入や、省エネの普及によりカーボンフリーを実現した大学も数十に及ぶ。現在北米だけで 300 大学以上が連携し、ヨーロッパやアジア各国でも広がり、成功を収めている。本取り組みは、海外の先進事例にヒントやノウハウを得ながら、日本の現状に合った、教育機関

のあるべき姿を考え、促進・普及させていきたい。

**多くの大学・事業所へ波及効果** いくつかモデル大学が生まれた後、エコ・リーグのネットワークを通して広く普及することが見込まれる。エコ・リーグでは、過去に多くの類似した事例があり、例えば、環境負荷の低い学園祭の実施の場合はマニュアルが数年間で約 50 の大学に導入され、現在では広く市民祭りなどにも広がっている。本事業は、ある程度パイロット事業が進んだ段階で、エネルギー・省エネ機器関連企業との協同事業とし、普及促進部分の費用を継続的に確保できる仕組み作りを目指す（北米では、既に成功を収めている）。将来的に、現在環境サークルのある約 250 の大学全てに本事業が普及することを期待している。

### 運営体制

エコ・リーグ内部に CCC 実行委員会を設置する（現在準備中）。実行委員は、エコ・リーグの会員に限らず本事業に関心のある環境サークル・環境ゼミ等のグループをメンバーとする。また、各環境サークルは、一般の学生への普及をそれぞれで推進する



と同時に、大学職員、教授や関連企業と共同で事業に取り組む。また、環境サークル同士、大学同士も本事業によって有機的に繋がり事業を推進することを予定している。

### 活動内容

目的	項番	項目	目的・内容
1. 啓発・知識・スキル支援	1	活動事例集作成	・キャンペーンマニュアルやキャンパスでの環境活動の優れた実践例を掲載したパンフレットを作成し、学生の活動を支援する目的で、定期的にアップデートされる。 ・参加者をフォーラムや他大学へ派遣し、自ら行っている活動について発表、同じ活動を行う仲間を募集する。
	2	専門家によるコンサルティング	・再生可能エネルギー発電設備、電力の購入など、ハード面の取り組みは専門的知識を要する。各学生グループや大学が正しい知識を基に活動できるよう、専門家にコンサルティングを依頼する。 ・専門家による講義や相談会により、活動計画を確実に実行できるサポート体制を構築する。
	3	パートナー企業・NPO・大学等を集めての会議	パートナーとして協力いただく予定の企業、NPO 等との情報共有を図り、環境サークルへの支援を円滑にするため、会議を定期的開催する。
2. 外部への情報発信	1	ウェブサイトによる情報発信	・再生可能なエネルギー、省エネや各活動の進捗状況を紹介するウェブサイトの運営。気候変動に関する活動を行う若手活動家のプラットフォームとなることにも期待する。海外のウェブサイトへ投稿し、世界への発信も行う。
3. 活動促進	1	定期情報交換会	・CCCに取り組んでいる、または今後取り組みたいという環境サークルのメンバーが集い、情報交換や、ノウハウ共有を行う。多様な地域から参加者が集まることができるよう、遠隔地からの参加者の資金的支援も検討する。